

2015年4月1日から2015年12月20日までにご寄付頂いた皆様方のお名前です。ありがとうございました。



認定NPO法人発足に伴う変更事項
一般寄付・賛助会費は税控除の対象となりますので、領収書をお送り致します。

- 一般寄付
 本法人の活動意義をご理解頂き、額の多寡は関係なくご寄附を賜りますようお願い致します。
 現金収受の方法は、事務局へお問い合わせ下さい。
- 個人賛助会員：年会費・・・・・・12,000円
- 法人賛助会員：年会費・・・・・・120,000円
- 募金箱
 募金箱をお置きいただける店舗・企業・他を募集しております。ご賛同いただける方は、事務局までご連絡下さい。
 本法人の活動意義をご理解頂き、活動を支援いただける個人又は企業の入会をお願いしております。
 入会申込書をホームページからダウンロードして事務局へお送り下さい。

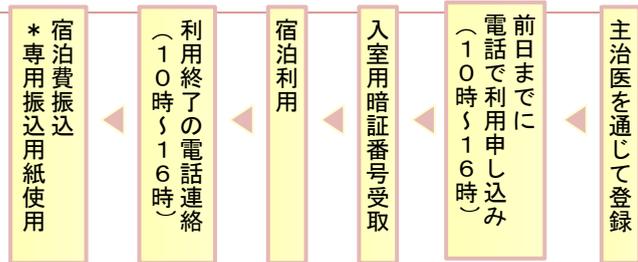
- 由村 和之 様
- 上野 凌太 様
- 上野 健太郎 様
- 藤村 真弓 様
- 野元 綾乃 様
- 黒崎 沙安 様
- 岡本 康裕 様
- 森山 愛 様
- 廣瀬 和徳 様
- 鉾之原 綾子 様
- (公財)煎茶道方円
流南九州支部 様
- 第21回日本保育保健
学会 様



「鹿児島ファミリーハウス」のご利用方法

鹿児島市内の病院に通院、入院する患児とご家族のための宿泊施設です。基本的な電化製品・台所用品・寝具・他のご用意があります。
 1,000円/1泊(宿泊人数は何人でもOK)でご利用できます。
 セルフサービス(清掃、ゴミの始末、その他)です。
 ボランティアの方達によって維持管理して頂いております。ご協力を。

ご利用の流れ



*(注)要/事前登録/ご希望の方は主治医にご相談下さい。

篤志家のご協力の下に鹿児島市鴨池2丁目(鴨池電停から徒歩1分)にあるビルの部屋(1K、1DK)をご提供頂き、平成19年7月からNPO法人子ども医療ネットワーク運営の鹿児島ファミリーハウスが誕生しました。

お問い合わせ/子ども医療ネットワーク事務局 TEL 099-275-5354

お問い合わせ先

認定NPO法人子ども医療ネットワーク本部

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8-35-1
 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 小児診療センター小児科内
 電話：099-275-5354

認定NPO法人子ども医療ネットワーク事務局

電話：099-275-5354 / FAX:099-265-7196

活動について・お約束

活動鹿児島やへき地など、小児医療の専門医が少ない地域に住んでいる子どもさんが、長期間の入院が必要な病気にかかった時に、ご家族を含めて安心して闘病できるように支援する事を目的に設立されました。又、難病等にかかり遠方から来院なさるおこさんとそのご家族にも広く門戸を開き、病気に対する不安や疑問を軽減し、外泊あるいは通院にかかる負担を軽減する為の事業を行います。すべてが皆様の共感とご協力のもとに運営されています。

お約束皆様からお預かりした個人情報
 ・会員のご案内の発送以外の目的で使用する事はありません。
 ・ご本人の同意なく第三者に開示・提供する事はありません。

会員の方々と事務局を結ぶ.....

こねっと通信

2015.winter VOL.16

- ファミリーハウス
- 健康相談会
- 子ども救急箱
- その他

Save the Children
 私達は離島・へき地の
 難病児を支援します



すべての子どもに適切な小児医療と
 快適な闘病生活を



認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)
 子ども医療ネットワーク





●理事長通信●

5年前に国税庁に承認された認定NPO法人資格を平成27年9月末に更新することができました。今回は法律の改定によって都道府県による更新審査が実施されることになり、「こども医療ネットワーク」が鹿児島県の更新第一号法人になったことを大変うれしく思います。ひとえに設立以来継続して活動を支援していただいている皆様のおかげです。厚く御礼申し上げます。

子どもを取り巻く環境は時代とともに変化しますが、最近の新聞記事によりますと、都会の幼稚園や保育園では周囲から子どもの声がうるさいというクレームが届くそうです。一方で私が育った田舎町のように、子どもの声が聞けなくなるのは寂しいという理由で、小学校の統廃合に住民が反対運動を展開しているところもあります。住宅事情が原因だと言ってしまうまでもありますが、自分たちの町の活性化には子どもの騒ぎ声が必要だと考える方が健全だと思います。

お隣の中国も一人っ子政策の方針を転換しましたが、先進国と言われる欧米諸国は子ども高齢化社会に直面し、労働者・納税者の減少と経済力の低下に悩む時代になってしまいました。50年後には現在1600万人の日本の小児人口が、800万人まで減少すると予測されています。子どもの数が増えるためには、何が必要なのでしょう。子や孫の時代を心配します。

●PTA教育講演会● 講師 岡本康裕

平成27年11月25日(水)
場所 安房公民館2階ホール

平成27年11月25日に、屋久島の安房地区のPTAとこども医療ネットワークの共催で講演会が開かれました。講演タイトルは、「こどもの症状―小児科へ行く前に」、副題は「こどもの命を守るために」でした。平日夜間の開催にもかかわらず、NPOからサポートを得ている家族の方を含め、小学校、中学校の父兄や学校関係者58人が参加されました。講演の後は意見交換会が行われました。19歳未満の小児の主な死亡原因である不慮の事故(45%)、先天奇形26%(自殺14%)、悪性腫瘍(小児がん)11%について概説しそれぞれの死亡を学校や家庭でどのように



こども健康相談会in奄美市 ご案内

日時:2016年2月13日(土)
13:30~15:30

場所:奄美市AiAiひろば2階
(住所:奄美市名瀬末広町14番10号)

予約:不要 参加費:無料

※託児はありません。こどもと一緒に座って参加できる場所を一部設けています。

13:30~15:00こども医療講演会
演題:「子どもの生活とメディア」~豊かな子ども期を過ごすために大人が出来ること~
(主に乳幼児期を対象とした内容になります)
講師:NPO法人子どもとメディア事務局 黒田可奈子 先生
15:00~15:30健康なんでも相談会



防ぐことができるのか(交通事故、溺水、窒息に気を付けること、予防接種を受けること、たばこが有害であること)について話しました。小児がんについては、どのような症状が見られるのか、専門医を受診するタイミングなどについて解説しました。

小児がんを克服して成人になる割合が増えており、生活の質が益々重要になっていきます。いじめを受けることもや、難病をもつこどもが生きやすい、真の意味での個性を尊重する世の中になって欲しいと思います。
(鹿児島大学小児科学分野 岡本康裕)



「こねっと通信」は、会員の方々と本部・事務局を結ぶコーナーです。ご意見・ご要望をドンドンお寄せ下さい。

《宛先》
〒890-8520
鹿児島市桜ヶ丘8-35-1 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 小児診療センター小児科内 「こねっと通信」係
E-mail
kodonpo@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp

認定特定非営利活動法人(認定NPO法人) こども医療ネットワーク

ホームページは随時更新中です
<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~ped/kodomoiryo/>

B型は大人よりも子どもが多く感染し、2~4月に流行するのが特徴です。これまで、B型に対するワクチンの効果はA型に比べて低かったため、特に子どもたちへの効果が期待されます。日本での臨床試験で完全性は確認されていますので、安心して接種してください。

こども救急箱

《インフルエンザワクチン》
―ウイルスの種類を追加―

こども医療ネットワーク会員
西 順一郎
(鹿児島大学歯学部総合研究科微生物学分野)
2015年10月27日
南日本新聞掲載

今秋のインフルエンザワクチンは、これまでの3価から4価に変わります。価という表現はわかりにくいですが、異なるタイプのインフルエンザウイルスがいくつ入っているかを示します。昨年までのインフルエンザワクチンには、A新型、A香港型、B型山形系統の三つが含まれていました。しかし、実際にはワクチンに含まれないB型ウイルスもみられるため、今年からB型ビクトリア系統が追加され4価になります。したがって、B型のインフルエンザに対する予防効果が、昨年より高まることが予想されます。

4価にすることでワクチンの製造に費用がかかり、製剤の価格が1.5倍ぐらいい上がりするようです。接種費用は、製剤価格に問診料・注射実施料などを加えて、医療機関ごとに決められます。子どもに安全に接種するには、十分な接種体制が必要です。ワクチンの価格だけで決めるのではなく、日ごろから通院している医療機関での接種をお勧めします。現在のインフルエンザワクチンの効果は残念ながら完全ではありません、しかし、綿密に計画された臨床試験では、その有効性が証明されています。接種しない群に比べて、A型の発症を幼児で70%、90%減らすと報告されています。成人ではさらに効果がみられます。子どもたちを守るために、ぜひ周囲の大人の方も接種をお願いします。



※こども救急箱の記事は2006年4月から隔週に掲載されています

「こねっと通信」表面に掲載させて頂けるお子様の写真を募集しております。
上記住所にお送り頂くか、E-mail kodonpo@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp まで

〒890-8520
鹿児島市桜ヶ丘8-35-1 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 小児診療センター小児科内 「こねっと通信」係